

敬語の特訓

・小学中学年以上向き・

もくじ

「敬語の特訓」について	2
このテキストのつかい方	3
丁寧語	4
問題一	8
問題二	16
尊敬語と謙讓語	24
問題三	28
問題四	42
尊敬の「れる」「られる」	44
問題五	46

(解答のページは、各問題ページに指示してあります)

「敬語の特訓」について

「敬語の特訓」は、使い方の難しい敬語を、正しく覚えるためのテキストです。

このテキストは、近年乱れが指摘されている日本語の中で、特に乱れの激しい「敬語」に焦点を絞りました。

テレビやラジオでは、タレントはもちろん、言葉のプロであるはずのアウンサーでさえ、正しい日本語が使えなくなってきました。こうして、本来国民全員のものであるはずの公共の電波にのって、偏った、誤った日本語が流されて続けています。それによって、どんどん子供たちの言葉遣いは乱れるばかりです。さらに、子供の時には正しい日本語を学んだ大人でさえ、恥ずかしいことに、テレビに汚染されて、誤った敬語や「ら抜き言葉」などを平気で話すようになっていきます。これが日本語の現状です。

言葉は変化するものですが、それは千年、二千年の長い時の中でのゆるやかな変化です。現代のようにほんの五年、十年単位での日本全域での大きな変化は、かつてなかったことです。それは日本語の根幹を揺るがす大事であるにちがいありません。

言葉は自然に変化してゆくものですが、だからといって現代のような急激な人為的な変化を許容してはいけません。良識のある大人は、正しい言葉を話し、そして子供たちに伝えてゆく使命を担っているのです。

このテキストは、子供たちが少しでも正しい言葉を話せる一助になることを願って作られています。

このテキストのつかい方

このテキストは、敬語を正しく使えるようになるためのテキストです。楽しく学習することが目標です。で、自分のやりたい問題からといてかまいません。また、わからない問題をとばしてもかまいません。国語辞典や学校の教科書などを調べて答えてもかまいません。どうしても分らない所は、答えを見てもかまいません。またお父さんやお母さん、お兄さん、お姉さん、学校の先生などにヒントをもらってもいいでしょう。

自力で解けなかった問題は、必ず日をおいてもう一度解いてみましょう。解けない問題が多かった場合は、このテキストを最初から全部やり直すのも良いでしょう。

ではさっそく始めましょう。

■丁寧語（ていねいご）

「本です」「食べました」「美しゅうございます」などのように、「です」「ます」「ございます」を語尾につける、また「お話」「ご理解」などのように、「お」「ご」を語の頭につけることによつてていねいさや、やわらかい敬意（相手を敬う気持ち）を表現する言葉を『丁寧語（ていねいご）』とい

◆「です」「ます」

「：です」は「：だ」のていねいな形です。「：だ」と言えるものは「：です」という丁寧形が使えます。

だ↓です だった↓でした だろう↓でしょう

* 「これは本だ」↓「これは本です」

* 「花がきれいだ」↓「花がきれいです」

* 「昨日は雨だった」↓「昨日は雨でした」
（「×雨だったです」）

* 「高原はさわやかだろう」↓「高原はさわやかでしょう」

注 「美しいです」

「美しいです」など、「形容詞＋です」が近年大変よく使われています。

しかし、形容詞に「だ」は接続しない（「美しいだ」とはならない）ので、本来「形容詞＋です」（美しいです）は間違いです。また、過去・完了を表す助動詞「た」にも「だ」は接続しません（「楽しかっただ」は間違い）。

「美しいです」「ないです」「楽しかったです」などは文法上は誤用ですし、さらに幼稚な印象を与えるので、みなさんは使わないように心がけましょう。

◆ 「ございます」

「…ございます」は元は「…ある」「…いる」の丁寧形で
す。「…です」よりていねいな表現です。

* 「本だ」↓「本である」↓「本でございます」

* 「きれいだ」↓「きれいである」
↓「きれいでございます」

* 「美しい」↓「美しくある」
↓「美しく（美しく）ございます」

* 「走っている」↓「走っております」

* 「明日か」↓「明日であるか」
↓「明日でございますか」

* 「私ではない」↓「私ではありません」
↓「私ではございません」

◆ 「お」「ご」

「お」「ご」は名詞（ものやようすの名前の言葉）の頭につけます。「お」は主に和語（もともと日本の言葉だったもの）につけ、「ご」は主に漢語（昔、中国から渡ってきた言葉）につけます。しかし例外がたくさんありますので、できるだけ覚えてしまいましょう。

* 「お名前」（名前は和語）
「ご氏名」（氏名は漢語）

注 「お」「ご」をつけない言葉の例

1、外来語

「×おバス」「×おエアコン」「×ごピアノ」

* まちがいやすいもの

「×おビール」「×おトイレ」「×おソース」

2、動物

「×お犬」「×お猫」 * 例外「○お猿」

3、公共の機関

「×ご警察」「×お学校」 * 例外「○お役所」

4、固有名詞（人名や地名など）

「×お太郎」「×ご日本海」

5、その他

「○お寺」

「×お神社」

注

「お」「ご」がつかないと意味をなさない言葉
「お」「ご」がつかないと読み方が変わる言葉

* 「御殿（ごてん）」 ↓ 「×殿（てん）」

* 「おみおつけ（御御付け）」 ↓ 「×つけ」

* 「ご飯（ごはん）」 ↓ 「○飯（めし）」

↓ 「×飯（はん）」 ↓ 「○飯（めし）」

* 「お腹（おなか）」 ↓ 「○腹（はら）」

↓ 「×腹（なか）」 ↓ 「○腹（はら）」

問題一、次の各文の最後に、それぞれ「です」「ます」「ごさいます」のいずれかの言葉をつけて、ていねいな形にしなさい。

例、今日はいい天気だ。

「今日はいい天気です。」

1、これは本だ。

「」

2、犬が走る。

「」

3、朝がさわやかだ。

「」

4、夜空が美しい。

「」

5、あれは何だ。

「」

6、鳥がとんでいる。

「

」

7、桜がきれいだろう。

「

」

8、一人では寂しいだろうか。

「

」

9、あれは流れ星だった。

「

」

10、きっと合格するだろう。

「

」

(解答は15ページ)